

沖縄県における 地震災害

～その予測と予防～

沖縄県知事公室 参事監 古波蔵健

平成23・24年度『沖縄県地域防災計画』見直しポイント

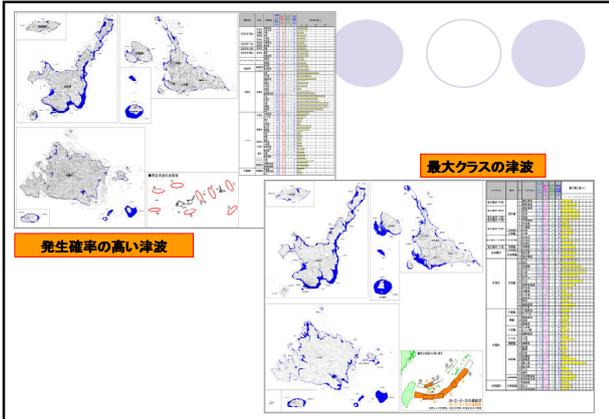
- 1 東日本大震災をふまえた地震・津波対策の強化**
 - ① 今後の地震・津波対策として2つのレベルの地震・津波を想定
 - ② 防災訓練・防災教育等によるソフト対策の強化
- 2 沖縄県の特長性を勘案した地震・津波対策の強化**
 - ③ 沿岸部低地の津波避難対策の強化
 - ④ 高齢者や障害者、観光客等の津波避難対策の強化
 - ⑤ 離島等への迅速な応援体制、米軍との相互連携体制の充実
- 3 災害対策基本法改正を踏まえた防災対策の充実強化**
 - 県防災会議に、新たに自主防災組織構成者や学識経験者等を追加
 - 大規模広域災害における県や国の調整規定の拡充
 - 市町村・都道府県の区域を超える被災住民の受入に関する規定を追加
 - インフラライフラインの整備強化(インフラの長寿命化、石油ガス施設の耐震強化等)

① 沖縄県津波浸水予測想定図の作成（土木建築部）
⇒ **最大クラスの津波による浸水予測想定図を追加**

発生確率の高い津波

最大クラスの津波

<http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kaibo/kaigan/tsunami/index.html>



② 県下一斉の沖縄県広域地震・津波避難訓練の実施
⇒参加人数約12万人、800団体

ビル基地へ子ら避難

全県避難米軍と災害協定

県民全避難へ27日 訓練

③ 沖縄県海抜表示等ガイドラインの策定
⇒県内統一の海抜表示デザイン案作成

海抜表示 (例)

津波 Tsunami 海抜表示 Sea Level 5m

津波 Tsunami 海抜表示 Sea Level 15m

津波 Tsunami 海抜表示 Sea Level 25m

津波避難場所 Tsunami Shelter

津波避難ビル Tsunami Evacuation Building

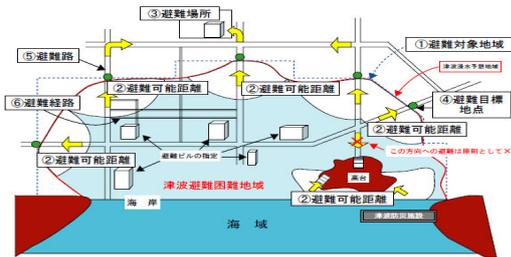
③-2 沖縄全域の海拔高度マップの作成
 ⇒ 1 m間隔で詳細な等高線を表示
 ⇒ 主要な公共施設等の海拔高度を表示



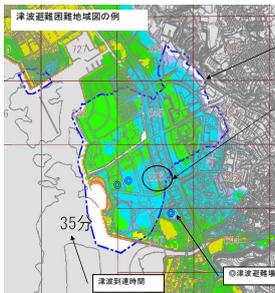
<http://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/bosai/26682.html>

③-3 「沖縄県津波避難計画策定指針」の策定
 ⇒ 市町村が津波避難計画を策定するために必要な事項や留意点をまとめた
 ⇒ 津波到達時間内に安全な場所に避難することを原則

<http://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/bosai/kikikanri/tunami-sakuteishishin.html>



④ 津波避難困難地域等対策調査の実施
 ⇒ 想定される津波の到達時間までに、徒歩で浸水範囲の外に避難することが困難な区域を機械的に抽出



○青線の範囲は、想定される津波の到達時間の35分以内に、徒歩(30m/分)で浸水範囲の外に避難することが困難な区域を示す
 ○平成24年度に沖縄県が見直した津波浸水予測図と、デジタル化されている道路マップデータを活用し、GIS(地理情報システム)上で機械的に抽出
 ○現在、市町村において地域の避難場所や道路などの実態にあわせた検証を行っている
 ○今後、市町村において、津波避難計画の作成や避難施設等の整備を検討するための基礎資料として活用すること目的

平成25年度以降の取り組み

- ① 東日本大震災を踏まえた地震・津波被害想定調査
⇒沖縄県域で起こりうる**最大クラスの津波**による人的、建物の被害想定を見直す。
⇒地震減災のための行動プランを策定し、『**減災目標**』を設定
- ② 沖縄県防災情報システムの再構築
⇒平成16年度から運用している本システムの老朽化及び**情報伝達の強化**を目的
- ③ 広域防災拠点施設の選定
⇒大規模の災害により沖縄県が被災した場合の**県外からの応援の受入**や被災した地域への**派遣の拠点**を選定
